

令和6年度 第2回函南小学校支援会議（学校運営協議会）記事録

令和6年6月24日（月）

〈参加者〉 学校運営協議会委員 ○稻葉優子（欠） ○辻 真人 ○加藤ひとみ
○山本哲也 ○辻 洋幸 ○石井雅隆
○河内香織 ○水林あや子 ○鈴木 薫
函南小学校 ○校長 ○教頭 ○教務

1 会長あいさつ

- ・先日の青少年健全育成大会の主張では、すばらしい意見がたくさんあった。
今日も固くならずに、意見交換をしましょう。

2 校長あいさつ

- ・今年度は今回分が1回増え、年間4回になりました。子供の様子をご覧になって、率直な感想を聞かせてください。

3 協議

（1）副会長の選出について・学校評価の項目について

- ・正式には承認されていなかったが、今まででは校長職が務めることとなっていたので、今年度より「副会長は校長が務めること」を提案。全員より拍手を持って承認いただいた。
- ・7月に実施する「学校評価の項目」について、紹介をした。次回の会議で、結果、分析を報告する。

（2）支援会議（学校運営協議会）についての周知方法について

各委員より

石井会長

- ・そもそも「学校支援会議（学校運営協議会）とは何か」や、何について話し合われているのか等を保護者に広めたい。前回話した内容をふまえて、試作文書を作ってきたので、ご意見いただきたい。文書は、メールに添付して配信する方法で行いたい。

加藤委員

- ・固い表現があるので、優しい表現に変えるのはどうか。

石井会長

- ・分かりやすくするのはよいと思う。ある程度の固い表現は必要。

山本委員

- ・学校と地域を結ぶ役割を担っていること。PTAもそうだが、最初にこの会の目的がある方がよい。

鈴木委員

- ・CS（コミュニティスクール）という言葉も分からない人はいる。この際なので、説明を入れたい。

加藤委員

- ・参加者のプロフィールは、関係ないものはなしてよい。名前も苗字だけでよい。

辻委員

- ・職場等はいらないのでは？

水林委員

- ・肩書等はあった方が相談しやすいと思う。

河内委員

- ・わたしもそう思う。誰に相談するか決めやすい。

鈴木アドバイザー

- ・他に周知する方法がある。PTA総会のときに、少し時間をとっていただいてメンバー紹介や簡単な説明をした学校もある。

石井会長より

- ・貴重なご意見ありがとうございます。学校と連絡をとりながら、進めていきたいと思います。

6 その他

辻委員

- ・子供会に入る児童も減り、保護者の教育力の低下が気になる。保護者に啓発し、保護者を育てていく必要を感じている。

※次回第3回は、10月23日（水）です。